

平成 31 年度 学校経営の構想

〈具体的努力事項〉

校訓 【誠実（すなおな心） 自律（求める心） 協同（支え合う心）】

学校教育目標

自ら考え行動でき、笑顔と活気あふれる生徒の育成

基本方針

生徒一人一人の良さを見つけ、認め、励まし、伸ばす

目指す学校像・生徒像・教師像

- ① 生徒の笑顔があふれ、生徒をほめる言葉が聞こえる楽しい学校
- ② 今何をすべきか、一人一人が考え、正しく判断し、行動できる生徒
- ③ 生徒のために、誠実に取り組み、常に学び、ともに協働できる教師

本年度の重点

【確かな学力づくり】

○学力の向上《分かる授業、楽しい授業》

- ① 学ぶ喜びを実感し、主体的に学習する生徒の育成を図る授業改善
～子どもの思いや考えをつなぐ授業づくり～
- ② 基礎学力の定着を図る必達目標の設定と達成率の確認
- ③ 校長・教員相互による授業参観、生徒による授業評価の実施

○個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・一人一人の学習状況や特性を把握し、個に応じた指導・支援の工夫

○学習規律の確立

- ① 「さぬきっ子学びの三訓」の徹底
- ② 音楽チャイムの廃止、黙想の継続・徹底

○読書活動の推進

- ① 朝読書の推進、学級文庫の充実
- ② 各学年、月1回の読み聞かせ

○目標や夢を持たせるキャリア教育の推進

【豊かな心づくり】

○生徒指導の推進

《にっこり笑ってきちんと指導》

- ① 基本的な生活習慣の確立
 - ・あいさつと感謝の聲が響く学校
 - ・時刻を守り、そうじができる学校
- ② 生徒理解と信頼関係づくり
 - ・「さぬきの教員かかわりの三訓」の励行
 - ・傾聴・受容・共感による生徒対応
- ③ 生徒の主体的活動の場の保障と育成
 - ・生徒会活動、部活動の活性化
 - ・学級・学年活動、学校行事を通じた鍛錬

○道徳教育の充実

- ① 道徳科の授業の質的充実を目指した協働体制による授業づくりの実施
- ② 生徒が自らの成長を実感し意欲の向上につながる評価の工夫

○人権・同和教育の推進

- ・互いに認め支え合う風土づくり

【健やかな体づくり】

《しなやかさとたくましさ》

○不登校傾向生徒への支援体制の充実

- ・情報の共有と関係機関との連携の強化
- ・SC、SSW等による相談・支援活動
- ・適応指導教室の効果的運用

○部活動の充実と活性化

- ・目標を持ち、継続して活動することによる、技能・体力、マナー、耐性の向上
- ・部活動ガイドラインに基づく練習時間及び休養日の設定

【開かれた学校づくり】

○小中連携の推進

《情報連携から行動連携へ》

- ・定期的情報交換、積極的な授業公開による教職員の交流の推進
- 情報公開と学校評価の実施、地域との連携
- ・広報活動の充実
 - ・保護者、学校評議員等へのアンケート、評価の実施による学校改善の推進
 - ・ボランティア活動の推進

○教職員の働き方改革の推進